

令和2年度 桐生市立広沢小学校 教育目標

自ら考え、心豊かで、たくましく行動する児童の育成

- 進んで学ぶ子（知）
- 心豊かな子（徳）
- 健康でたくましい子（体）
- ・ 広沢を愛する子（地域）

目指す児童像

- 進んで学ぶ子（知）
話をしっかりと聞く子
自分の考えをもち、表現できる子
- 心豊かな子（徳）
友だちに優しくできる子
協力して活動できる子
- 健康でたくましい子（体）
友達と元気に遊べる子
目標をもって運動が続けられる子
- ・ 広沢を愛する子（地域）
地域について興味関心をもつ子
地域の行事に積極的に参加する子

学校経営の方針と努力目標

1. 進んで学ぶ意欲や態度を育て、確かな学力の向上を図る。

→全国学力学習状況調査やCRTで全国平均以上をめざす。

- 教材研究を充実させ、みんなが「わかった」「できた」と感じられる授業を展開する。
 - ・めあてとまとめを明確にした授業
 - ・45分を有効に使ったメリハリのある授業（チャイムと共に始め、チャイムと共に終える）
 - ・補充指導の充実、教科担当制の推進。
 - ・学習規律の徹底（言葉遣い、返事、学習用具、チャイム着席等）
- 新学習指導要領の趣旨を反映した教育課程の編成・実施・評価・改善の充実
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
 - ・目標と評価の三つの柱：(1)知識・技能 (2)思考力・判断力・表現力等 (3)学びに向かう力・人間性等
- 基礎的・基本的事項の確実な定着
 - ・朝学習の内容の充実と15分間の有効活用
 - ・1時間のねらいが達成できたか、確認問題の実施
- 学習習慣の定着と学習意欲の育成
 - ・宿題の確認、自主学習の推進
 - ・「家庭の日13」（第13区家庭健全化運動）に関わり、親子でふれ合える宿題の設定
- 読書の奨励（図書室の本の利用1人年間50冊を目標に）

2. 豊かな心を培い、仲間とともに楽しく学べる学校づくりに努める。

○学校行事、学年行事等での心の育成

- ・一人一人に活躍の場を設定する。
- ・結果だけでなく取り組みへの賞賛や声かけ
- ・自己有用感の育成

○規範意識・善悪の判断・コミュニケーション能力の育成

- ・生活安全目標（委員会）、生徒指導との連携、目標の達成の把握、
教師の率先垂範(挨拶、無言清掃、廊下の歩き方、教室やトイレ電気の消灯、整理整頓等)

○道徳教育・人権教育の充実

- ・いじめの早期発見と早期解決

○児童の心に寄り添った指導や支援

- ・児童の名前は「さん」「くん」付けにする。暴力や乱暴な言葉による指導は絶対にしない。
- ・児童の居場所づくり

○特別な支援・配慮を必要とする児童への指導や配慮

※「個別的教育支援計画（保護者同意署名押印）と個別の指導計画」（特学級と通級指導の全児童について作成、通常学級在籍は教育支援委員会に名前が上がった児童は作成）、教育支援委員会の充実、通常学級での配慮、学習室と協力学級の連携、相談室・SC・保健室、関係機関との連携（市教委、通級、研究所、子育て支援係、児童相談所等）

3. 自己の体力向上や健康管理に留意し、安全・安心な学校づくりに努める。

○教科体育の工夫と運動量の確保（外遊びの奨励・運動の日常化）による体力向上

- ・朝の運動の時間の確保、実施内容の見直しを図る。

○児童自らが命を大切にしようとする安全教育（避難訓練・交通安全教室・着衣泳等）の推進

○基本的な生活習慣（手洗い・うがい等）や望ましい食習慣の形成

○見守りボランティアの活性化、安全点検・危機管理マニュアルの見直し

4. 家庭・地域・幼中との連携を図り、開かれた学校づくりに努める。

○放課後子供教室の実施→1・2年生希望者の学習支援、全学年希望者の体験活動

○保護者や地域への適切な情報発信・連携→学校・学年だよりやメール配信

○幼中との積極的な連携（2年生活科「遊びの国」、6年運動会・合唱コンクールの参観等）

○学校支援センターの充実…彦部家見学（3年）、着衣水泳指導（5年）、消防分団（プール清掃や地域防災訓練）、ミシン指導（5年）、読み聞かせ（低学年）、ブライド作り（学習室2）、遠足や校外学習（全学年）等

5. 職員相互が高め合い信頼できる職場づくりに努める。

○組織としての学年会の活性化、若手の育成

○校内研修の充実

○情報の共有化、連絡・相談・報告の徹底

○協働態勢の推進

○校務の効率化と勤務時間の適正化→45時間超過しない働き方、休日出勤しない働き方の工夫

○服務規律の確保→毎週「言」「情」「非」チェック

○事務の適正処理→学年内で通知表・要録・会計簿などの相互チェック

○個人情報の徹底管理→持ち出し簿の記入の徹底